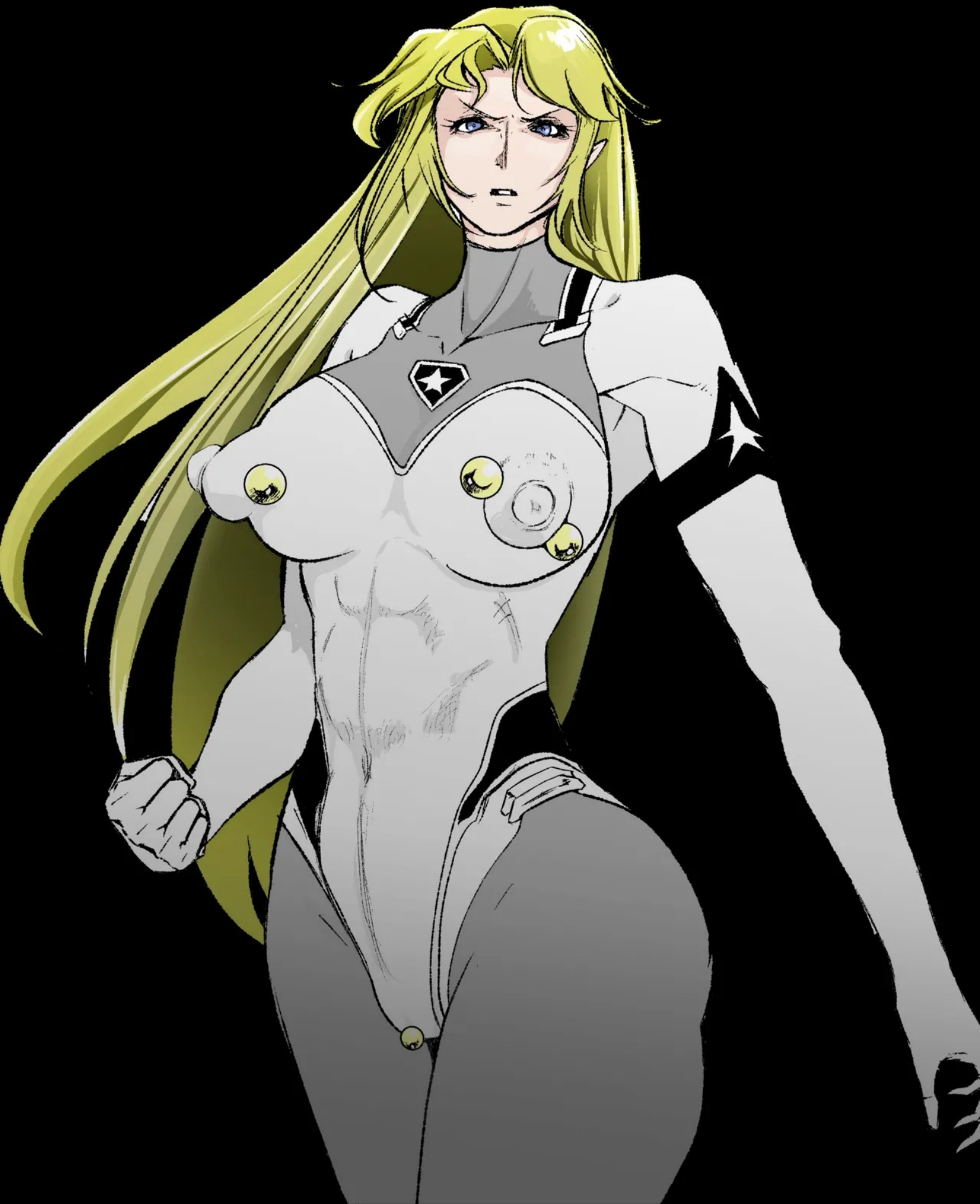
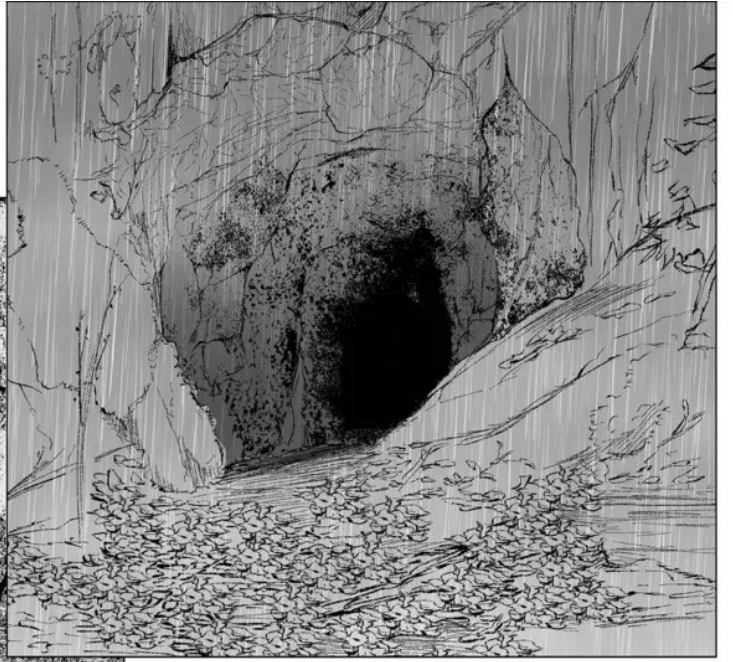


スーパーヒロイン
エマの敗北14





ここは何処…
私はどうしてここに…

ああ…そうだ…
超人部隊が
助けに来てくれて…

マズい…
子宮の封印が弱まってる…

再封印しなくては…





長く気絶している間に
妊娠が進行してしまっただわ
早く本来の封印を施さないと
きっと産まれてしまう…



体力は回復している…
一時的に自分で
封印を施す力はある



中継基地じゃない…

何故こんな所に…
何か事情が…?



休息出来たおかげで
なんとか応急処置は行えた…

ちゃんとした処置を…
後でアヤカに頼まなくては…

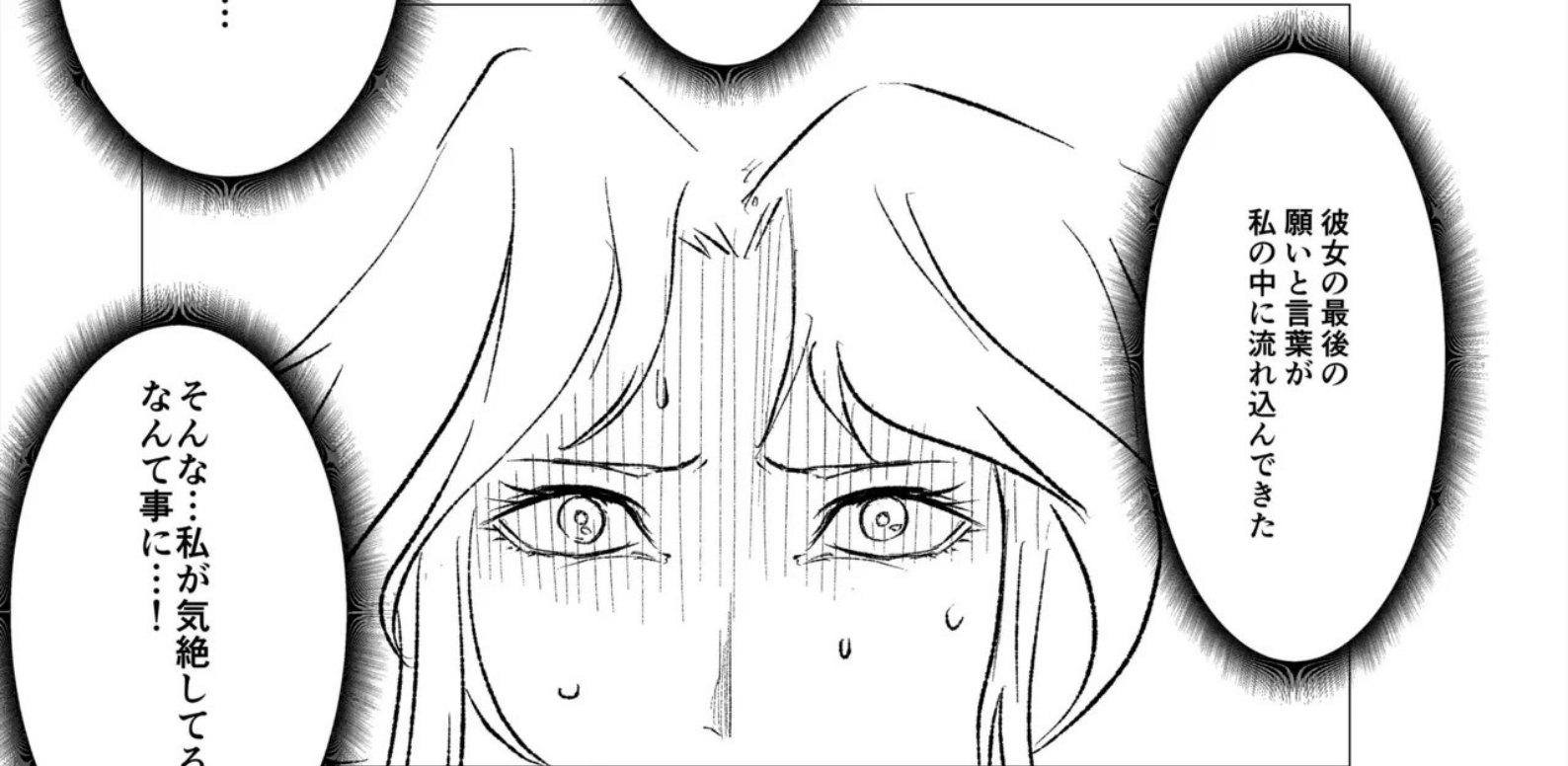


エマ…

あとは…頼むわ…

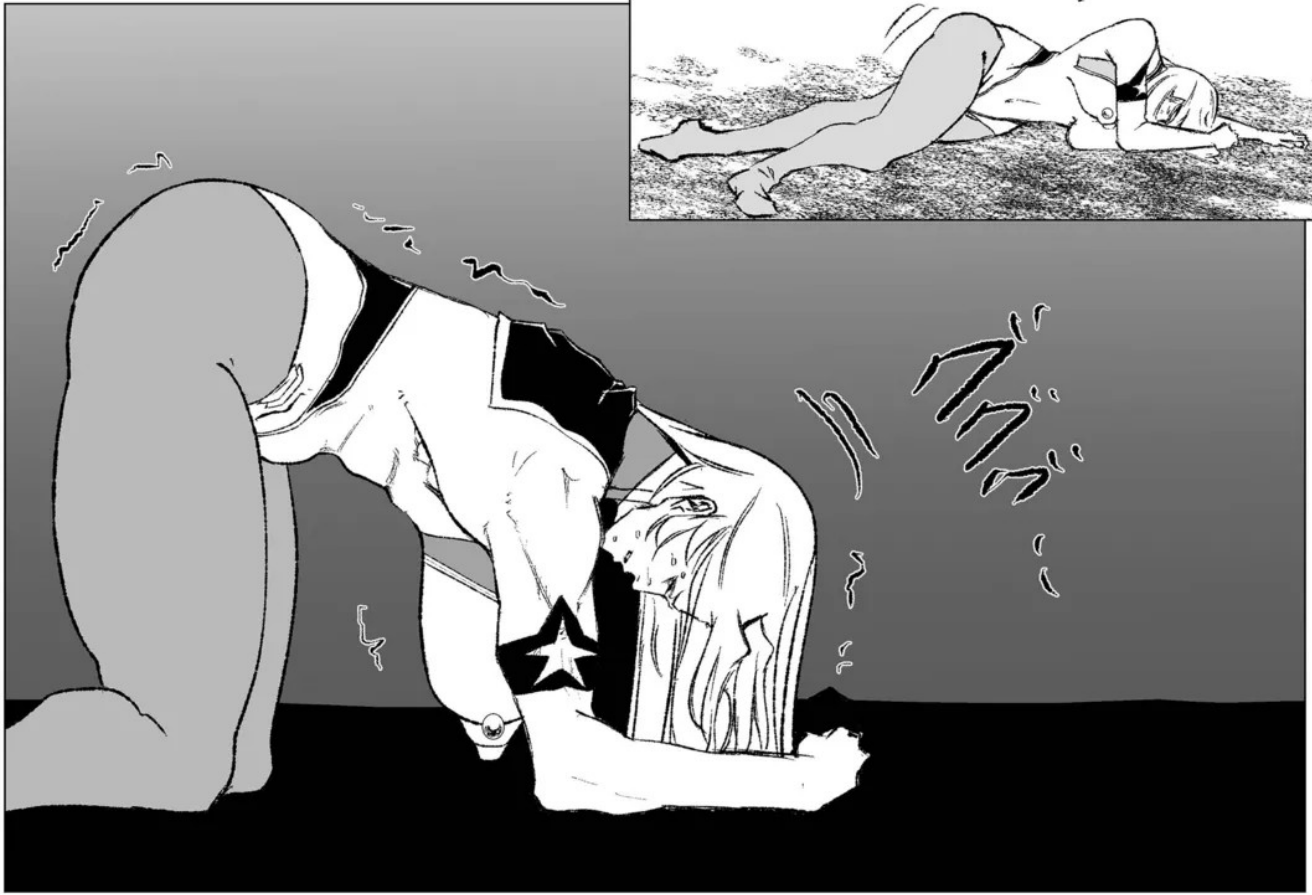
今のは絢香…!?

魂の断末魔…



彼女の最後の
願いと言葉が
私の中に流れ込んできた

そんな…私が気絶してる間に
なんて事に…!



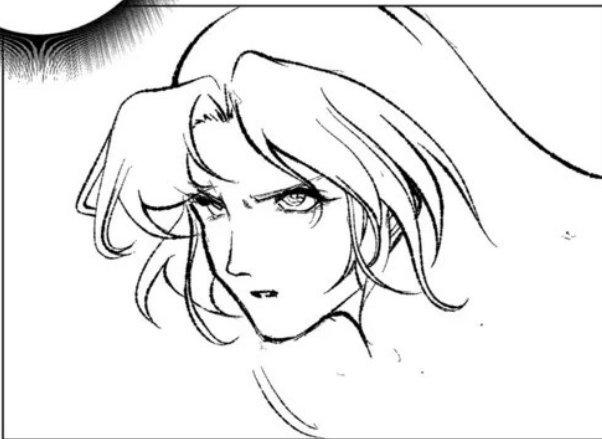
！
これは…

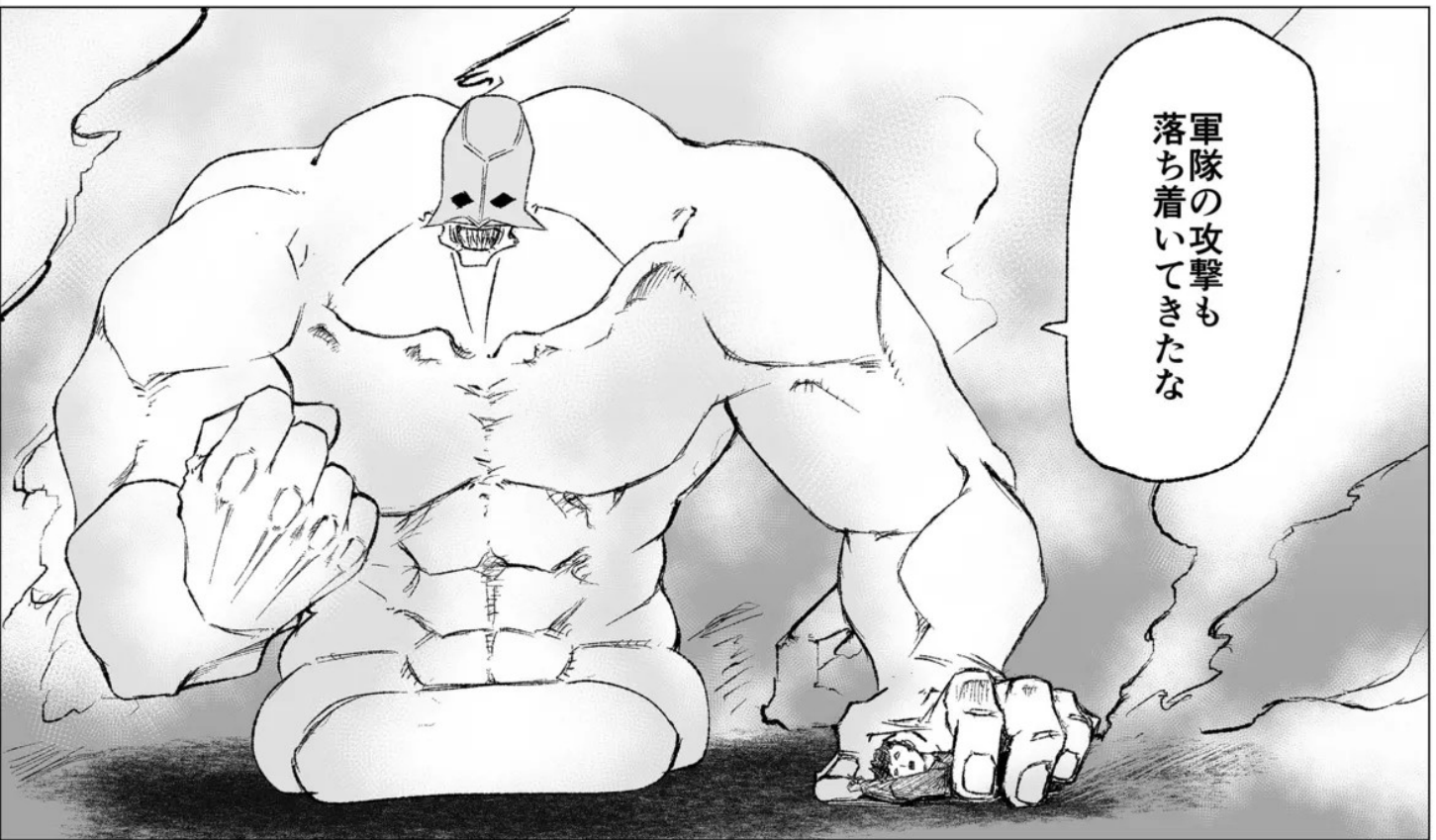
私にこんな力が
眠っていたなんて…



満身創痍でも…
この力があれば戦える…！
人類の為に…そして

絢香…
あなた達の仇を
私が必ず討つわ！





軍隊の攻撃も
落ちてきてきたな



へへへ
エマを捕えたってニュースに
飛んできてみりゃ
取り逃してんじゃねーか



逃した事があるのは
お前もだろう
マヌケ

せっかくエマを捌れると
思ったのによ



私があの子の身体に
仕込んだ種
あれは特別な実験だ

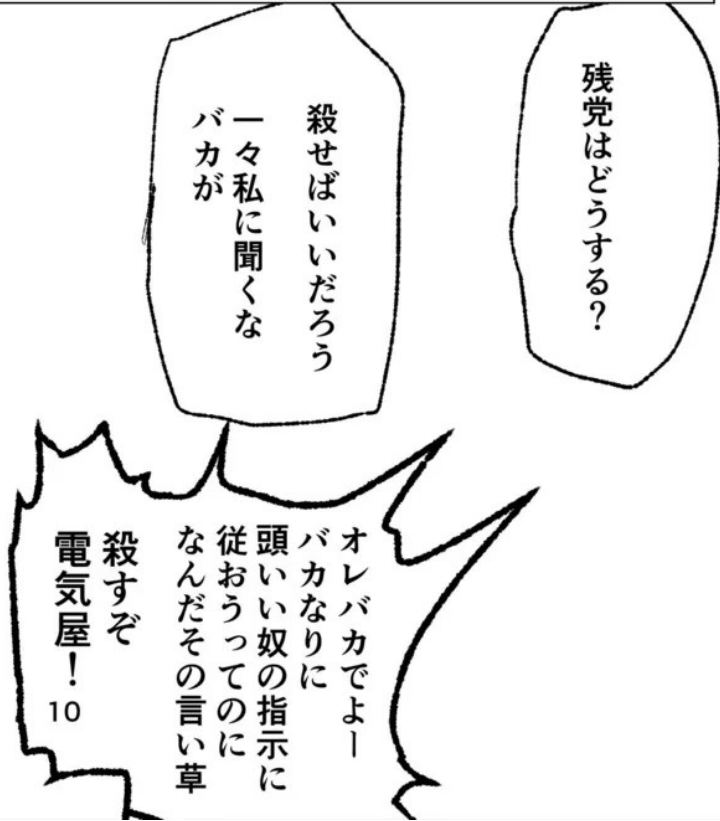
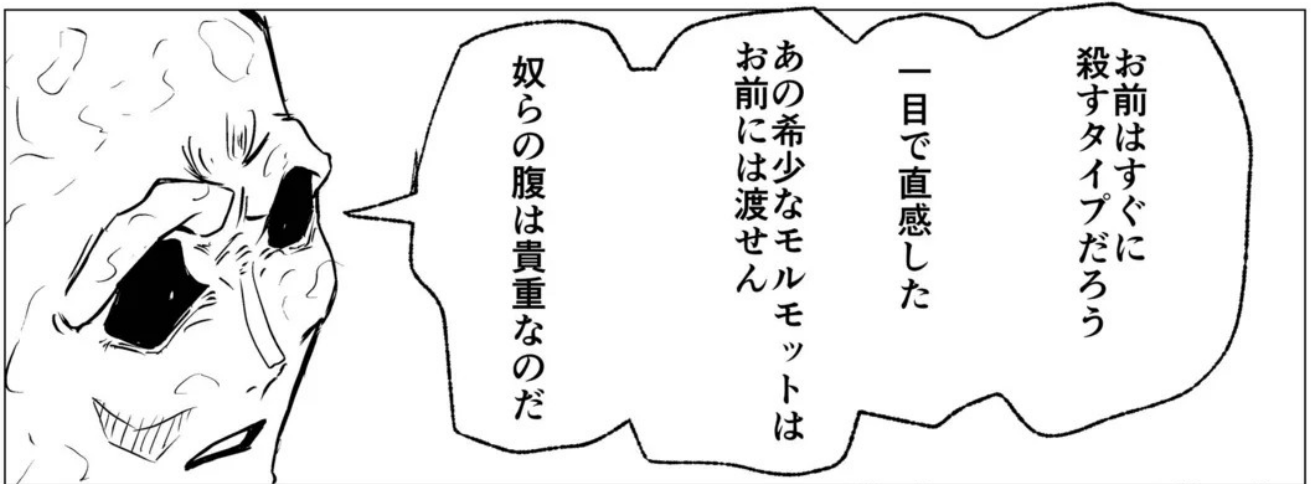
幾度と違う怪人の種を仕込まれた
今のエマの腹の状態は
きつと面白い事になっている

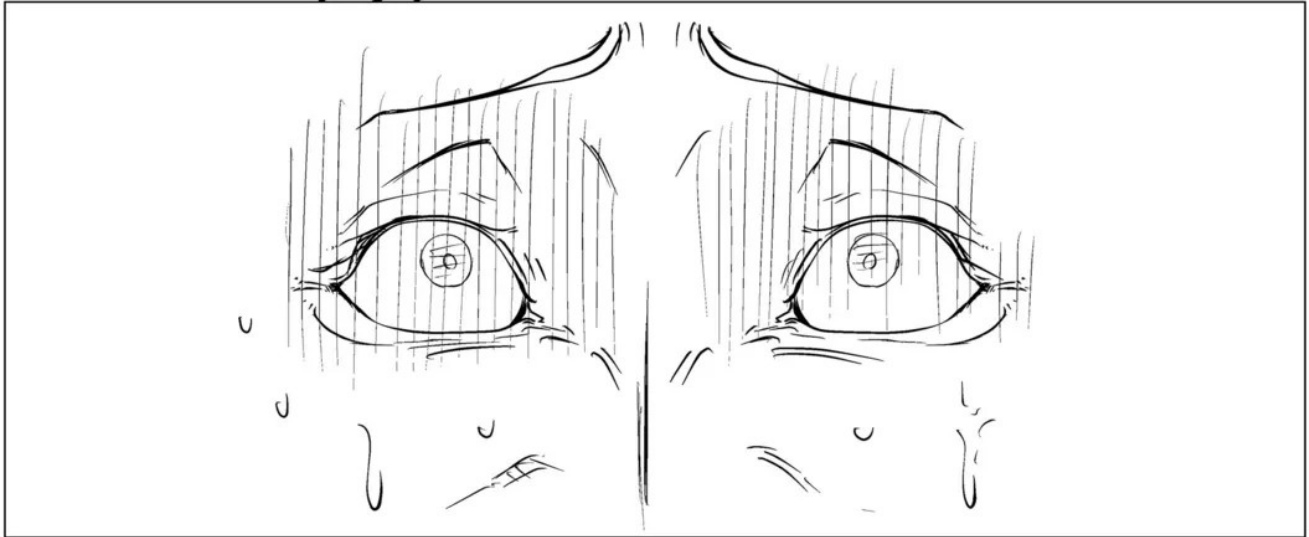


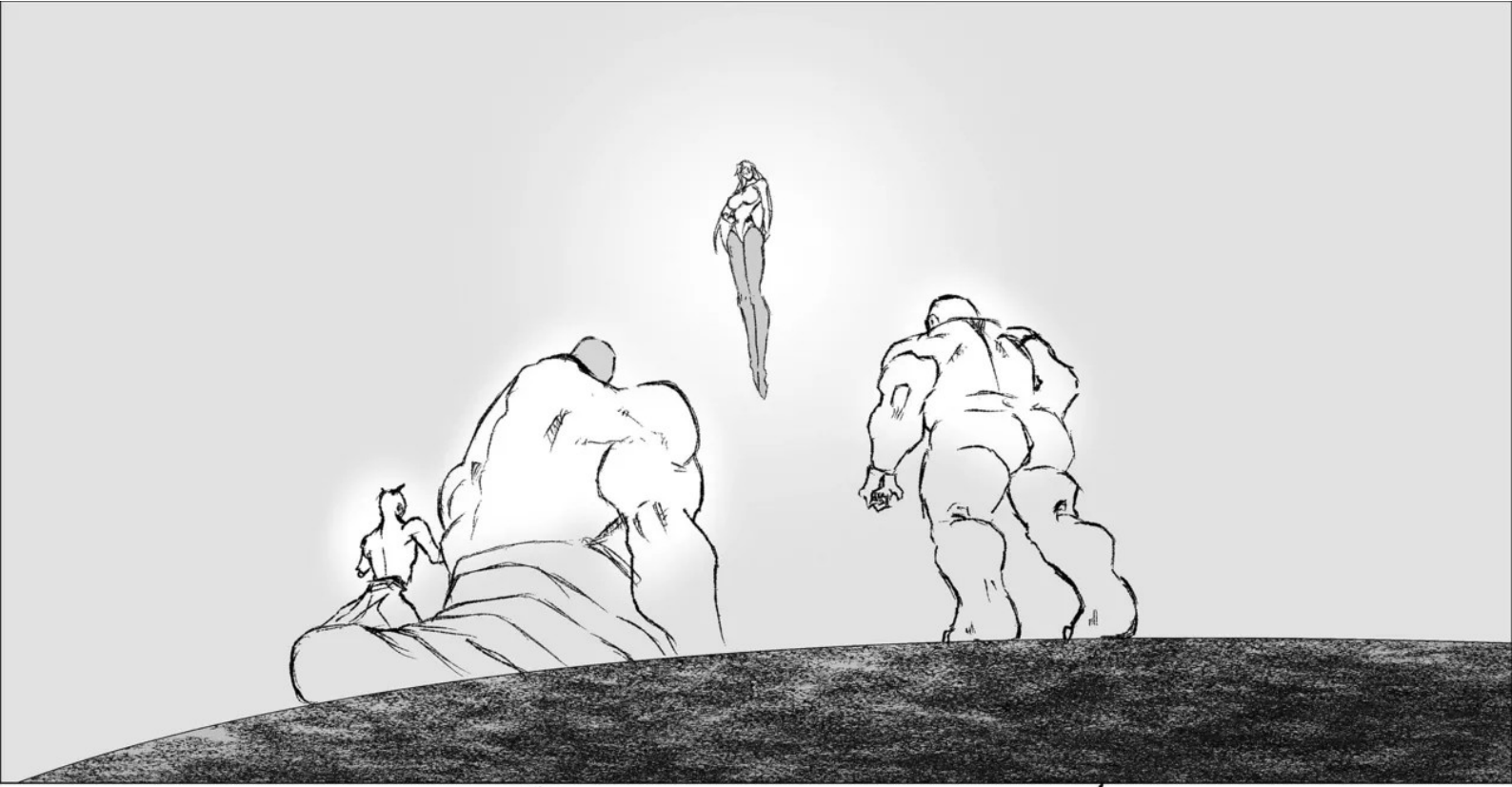
地球の生命体の
常識を外れたものに

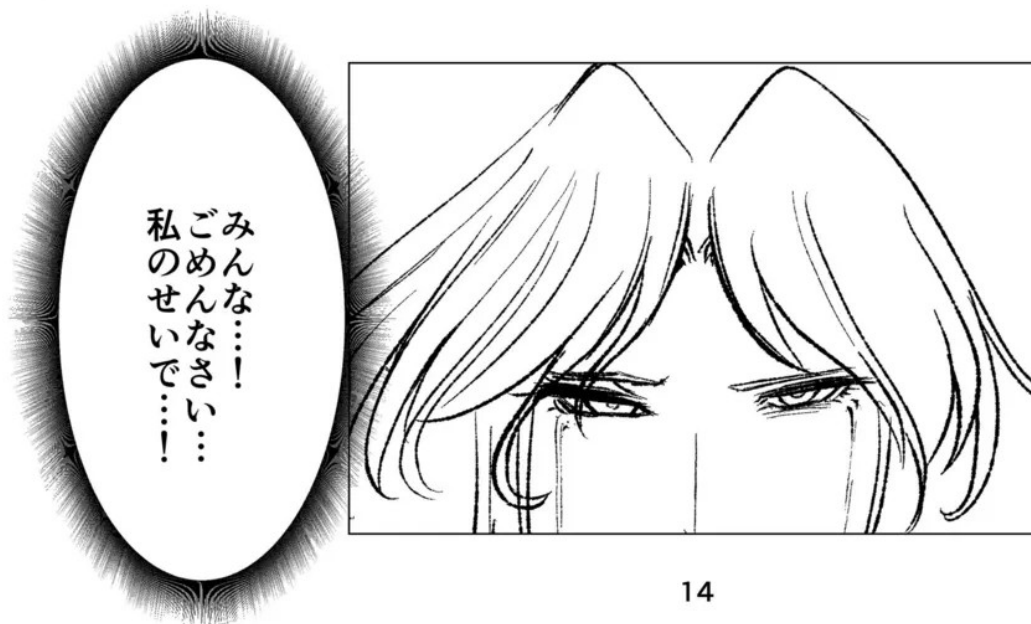
その結果を得る為に
足を運んで

こんなくだらん戦争に
付き合う事になるとは







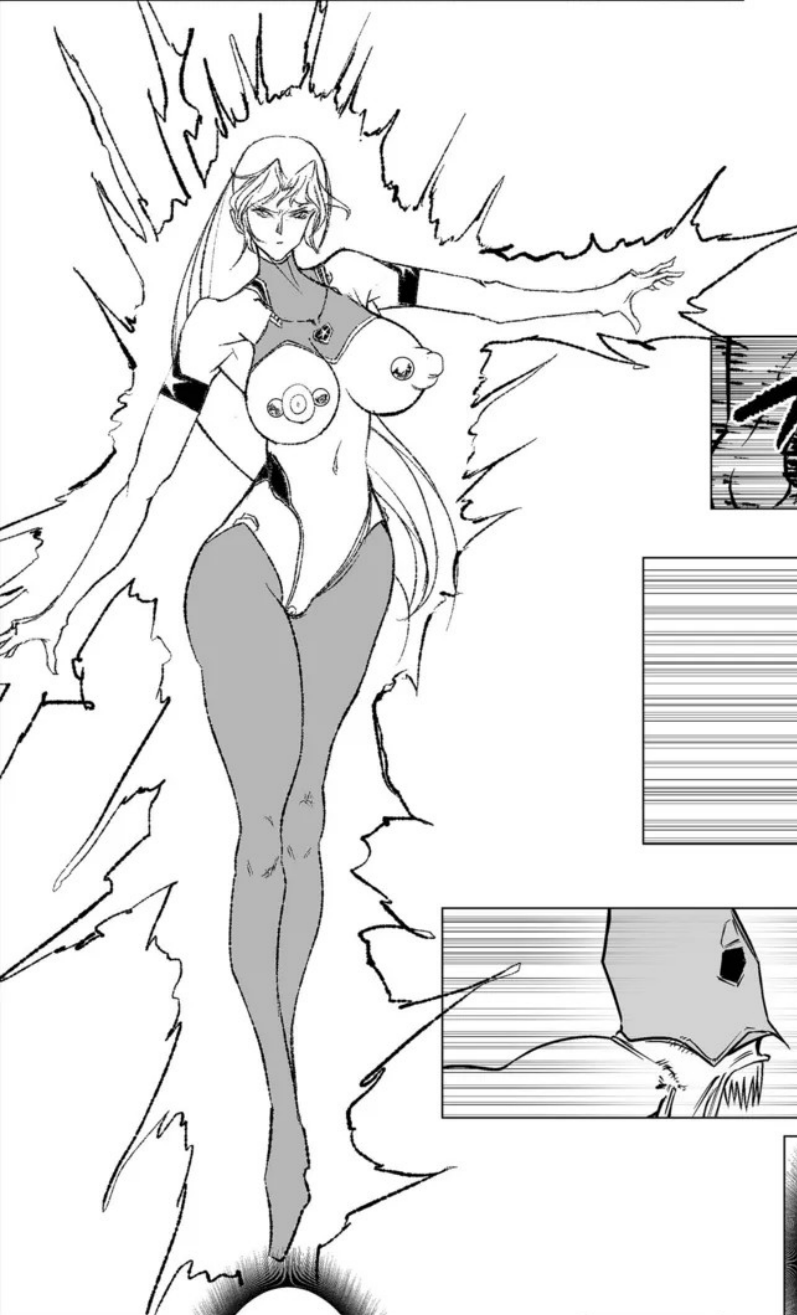


人々の未来のため、
怪人の世界にはさせないわ！

あなた達の
家族は私が
守ってみせる！
手を出させてなるものか！

正義の名にかけて
お前達は必ず私が倒すっ！

もう逃さねえぞエマ！
ぶちのめして
今度こそ完全な雌奴隷にしてやる！



だ：ふふふ
だがこちらにも
切り札はある

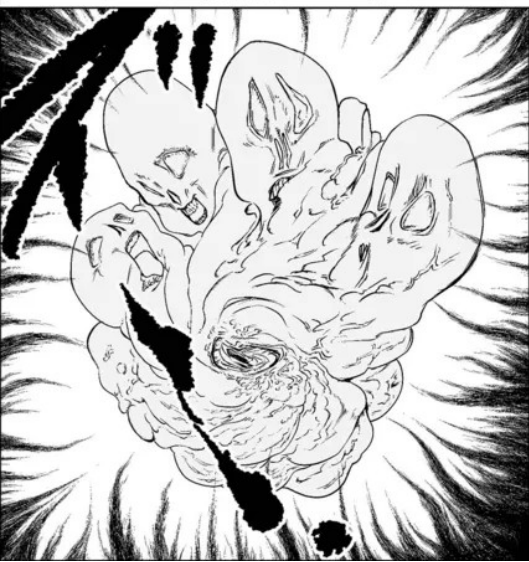
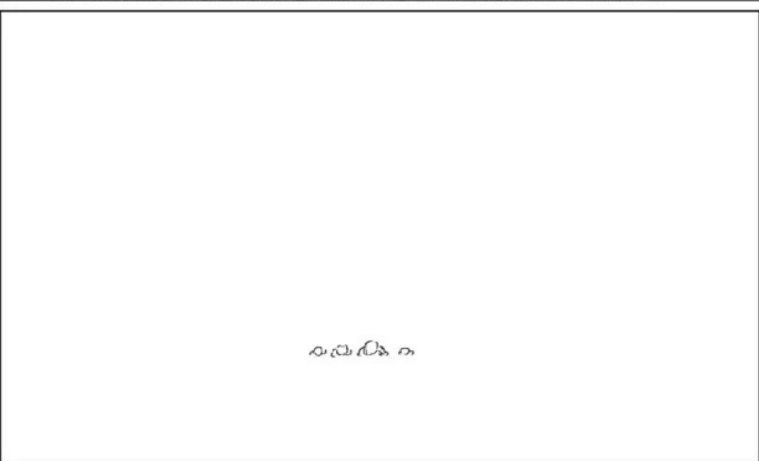
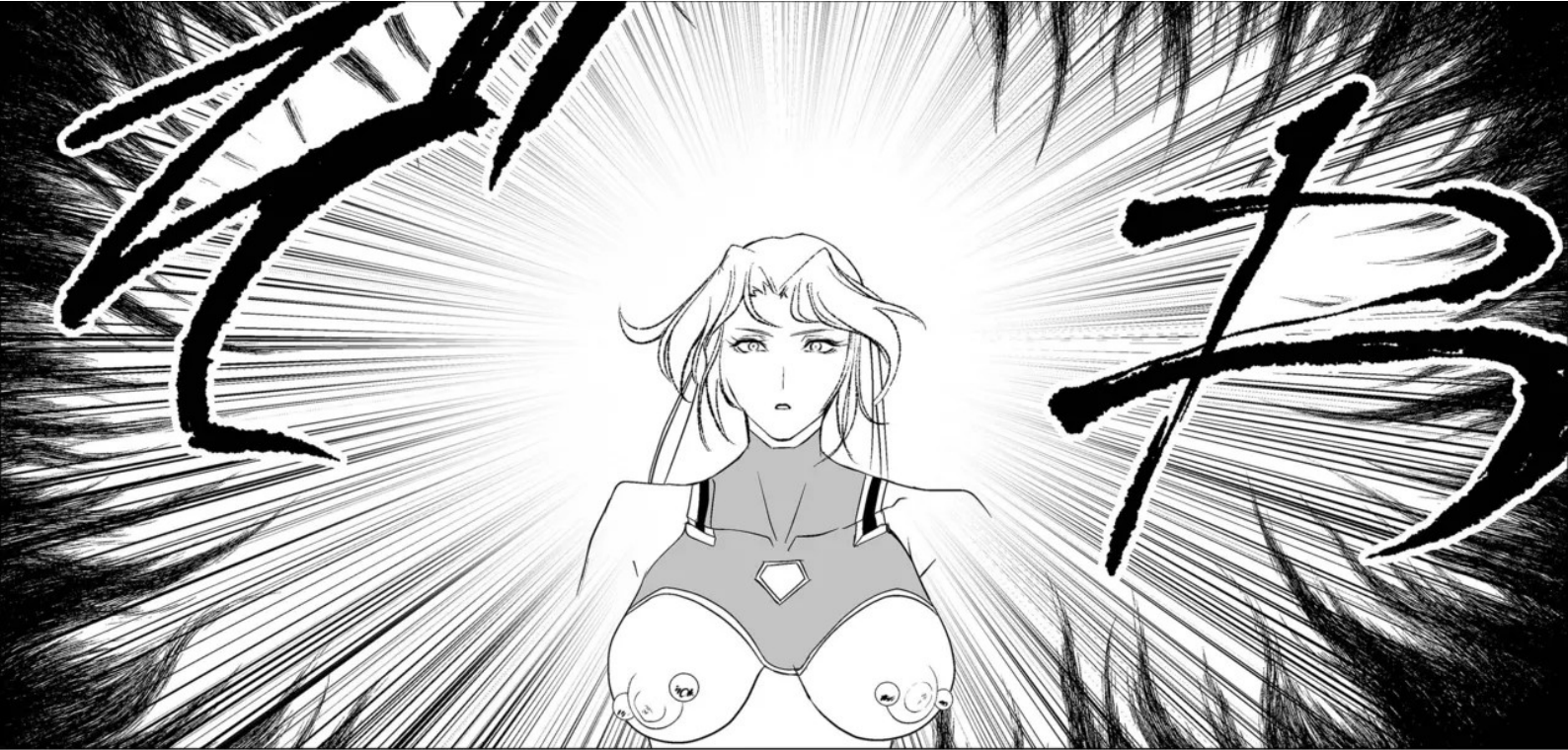
あの怪人が超人女共から
作り出していたあれを
使ってやる！



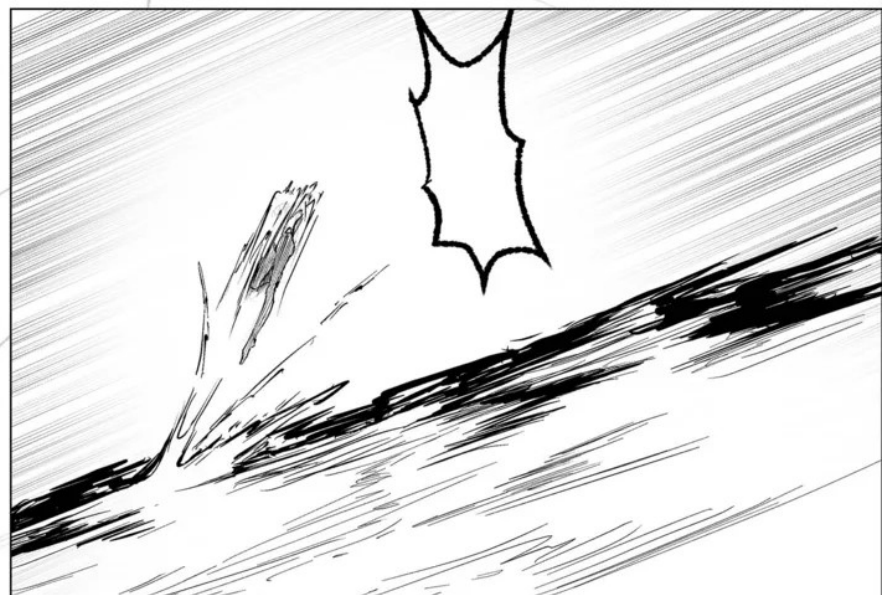
バカな：
なんとという強さだ！

本当に数日前に
死にかけていた
女か!?

軍隊を返り討ちにする程の
怪人共が押し負けている！





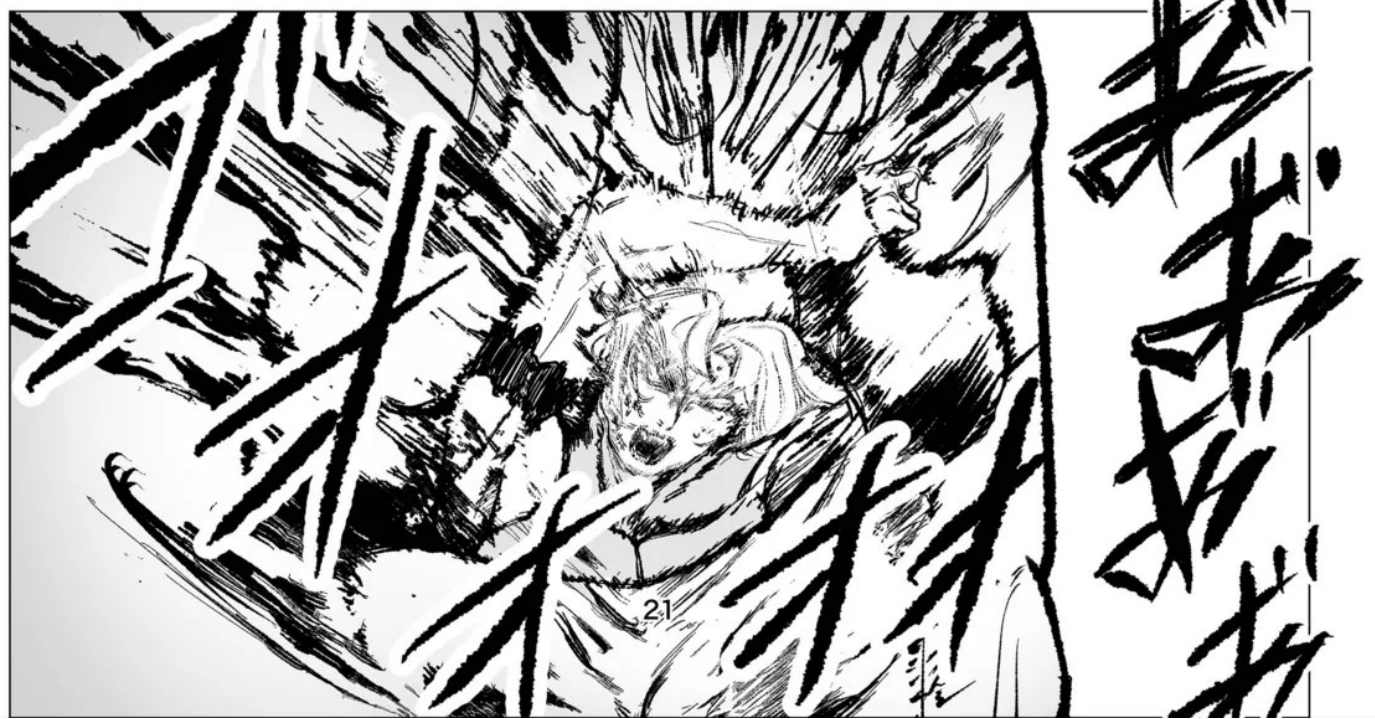






テレポルト：
軟体：
溶かされた鉄：
間違いない：
この怪人の持つ能力

これは
超人部隊の能力！



超人部隊の能力を
持った怪人：

こいつが絢香達を苦しめ
生み出された怪人兵器：

絢香達を苦しめ弄んだ
象徴！

こいつだけは…
存在させてはいけないっ！

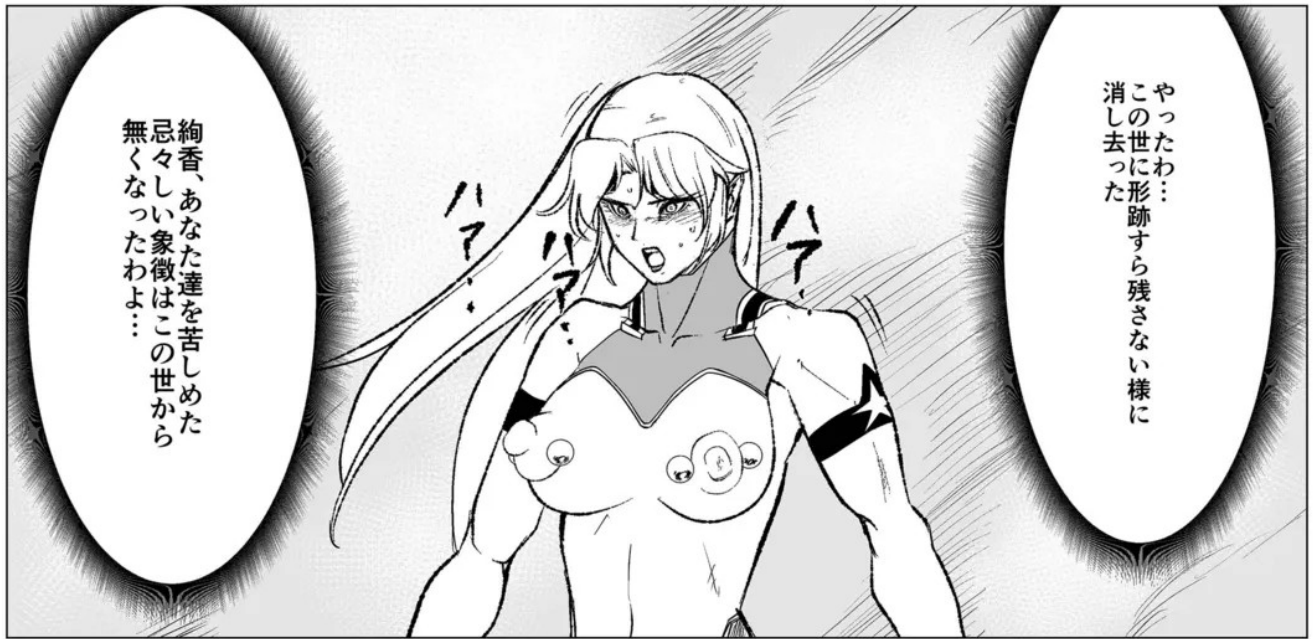
ここで
跡形も無く消し去るっ！





はあああー！





やったわ：
この世に形跡すら残さない様に
消し去った

絢香、あなた達を苦しめた
忌々しい象徴はこの世から
無くなったわよ…



うっ…

クラ..



まだ：
まだ倒さなきゃ
いけない敵がいるのに…！

ハア…
ハア…

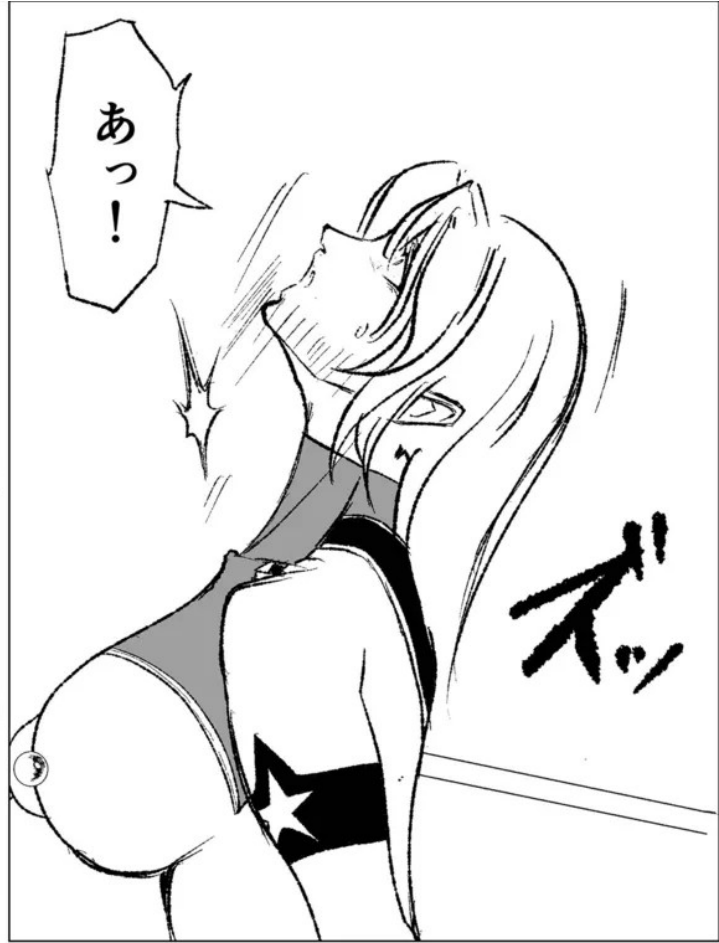


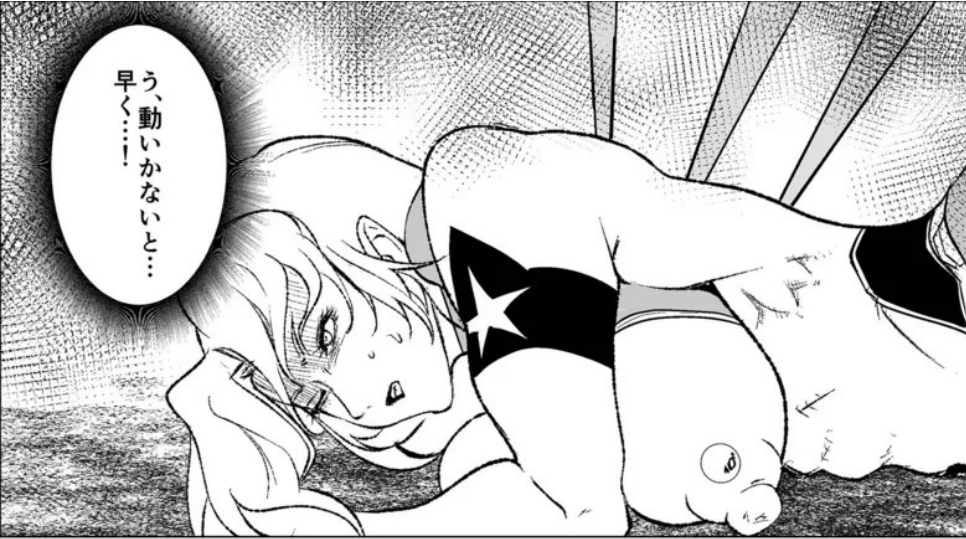
力を使いすぎた…

身体が重い…

急に息も上がってきた…

フワ..





う、動かないと...
早く...!!



身体に何かを注入
されてる...!!
マズい!



うっ!



おえっ!



あっ!



吐き気が...

身体中に広がっていく...

おいゾズマ
そろそろ次に移っても
いいだろ?

ああ





はあああー！

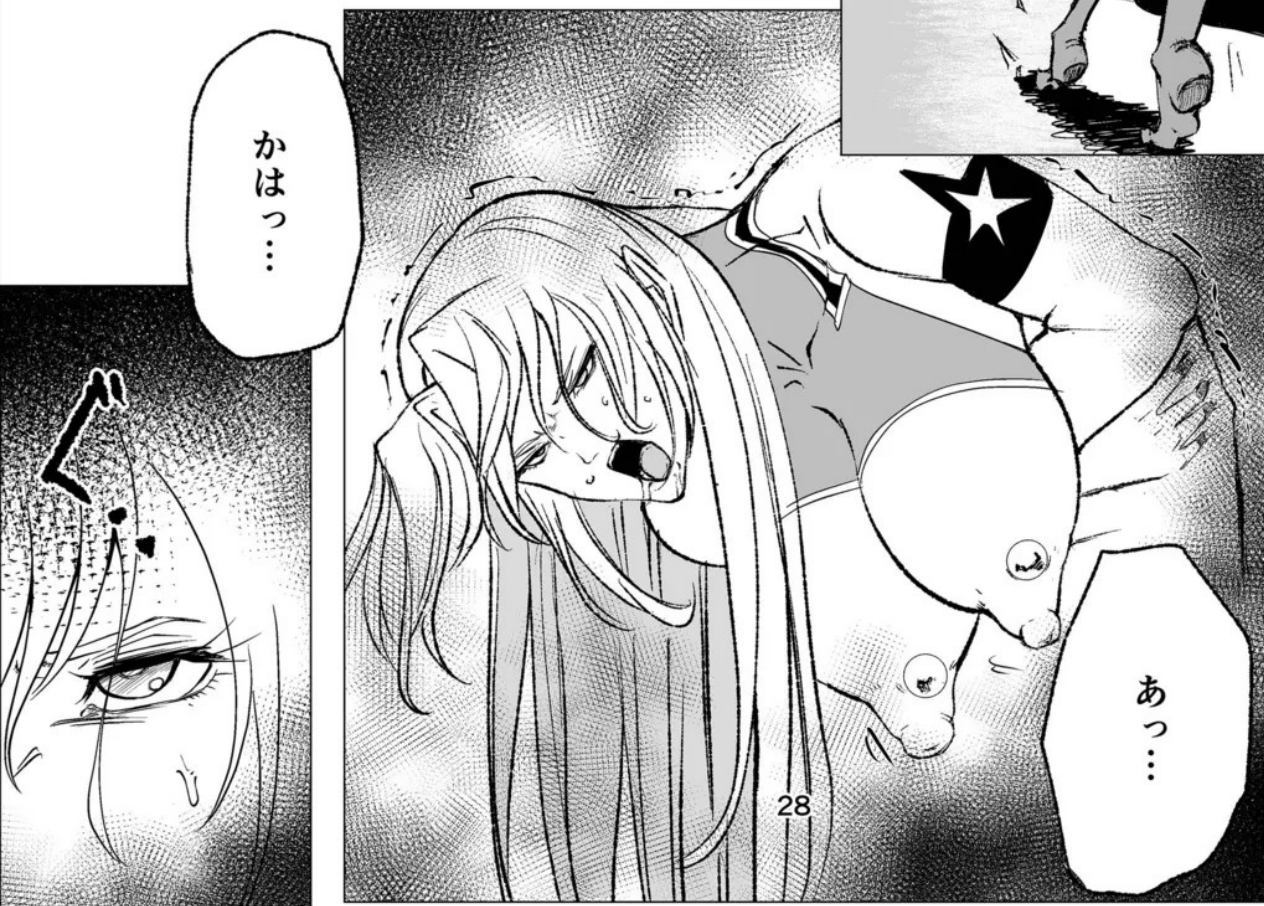
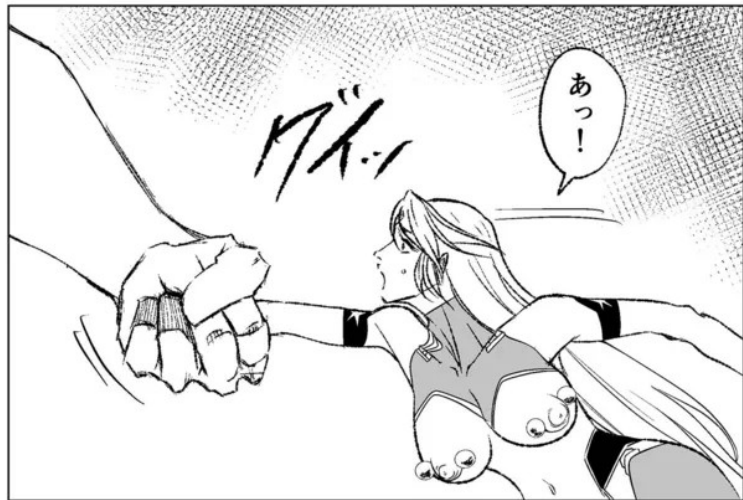


流石に
しぶといな

っっ！



あれを注入されて
まだ動けたのか

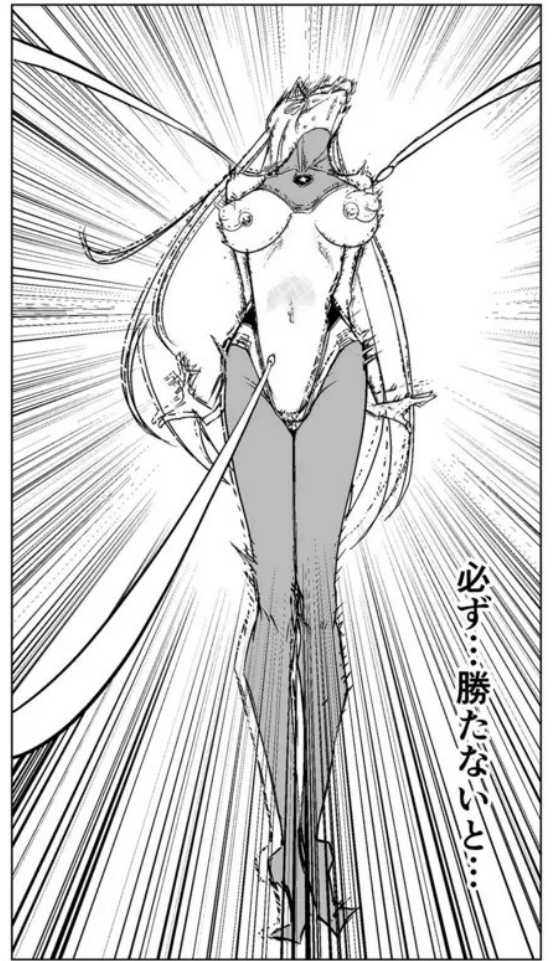




私が負けたら
人類が…



負けられない…



必ず…勝たないと…



絢香…

ハア…

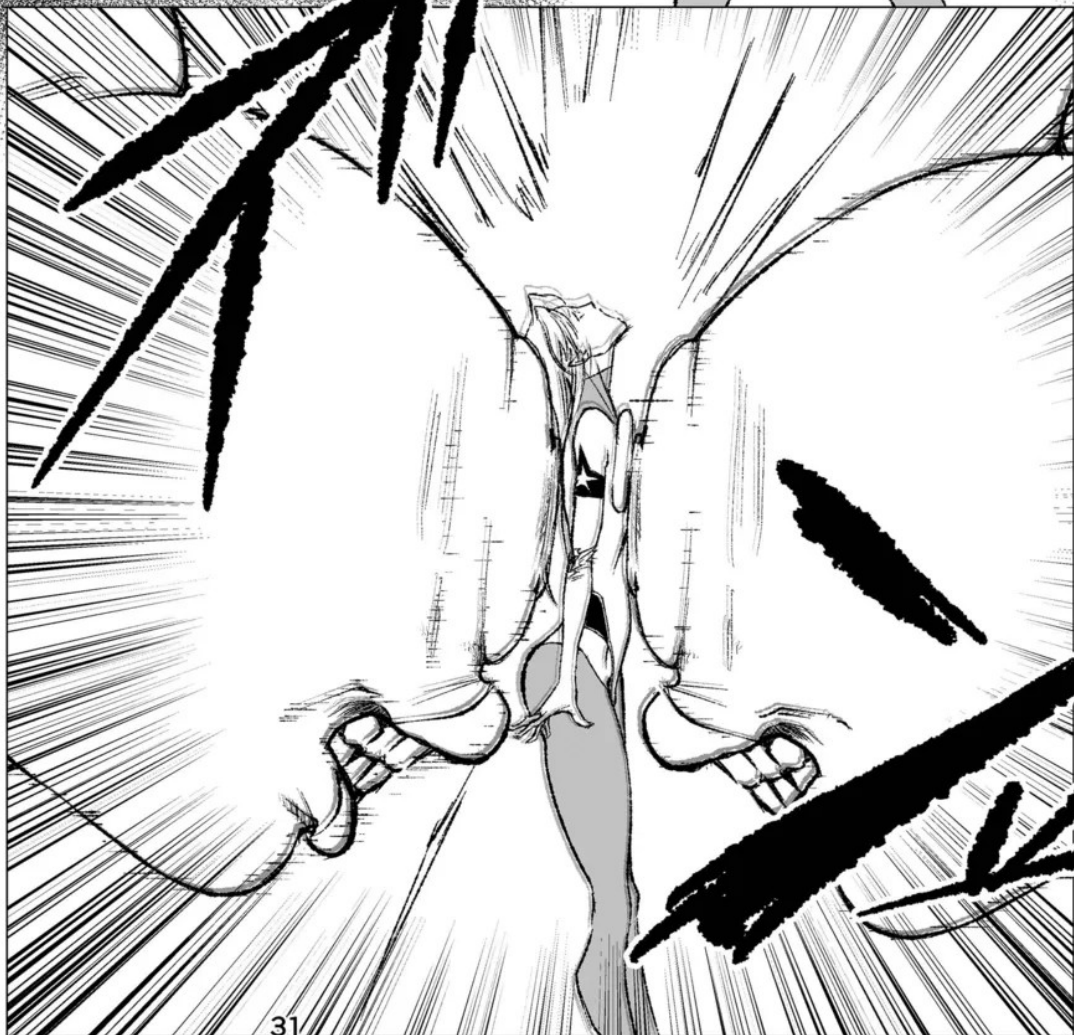
レン…!

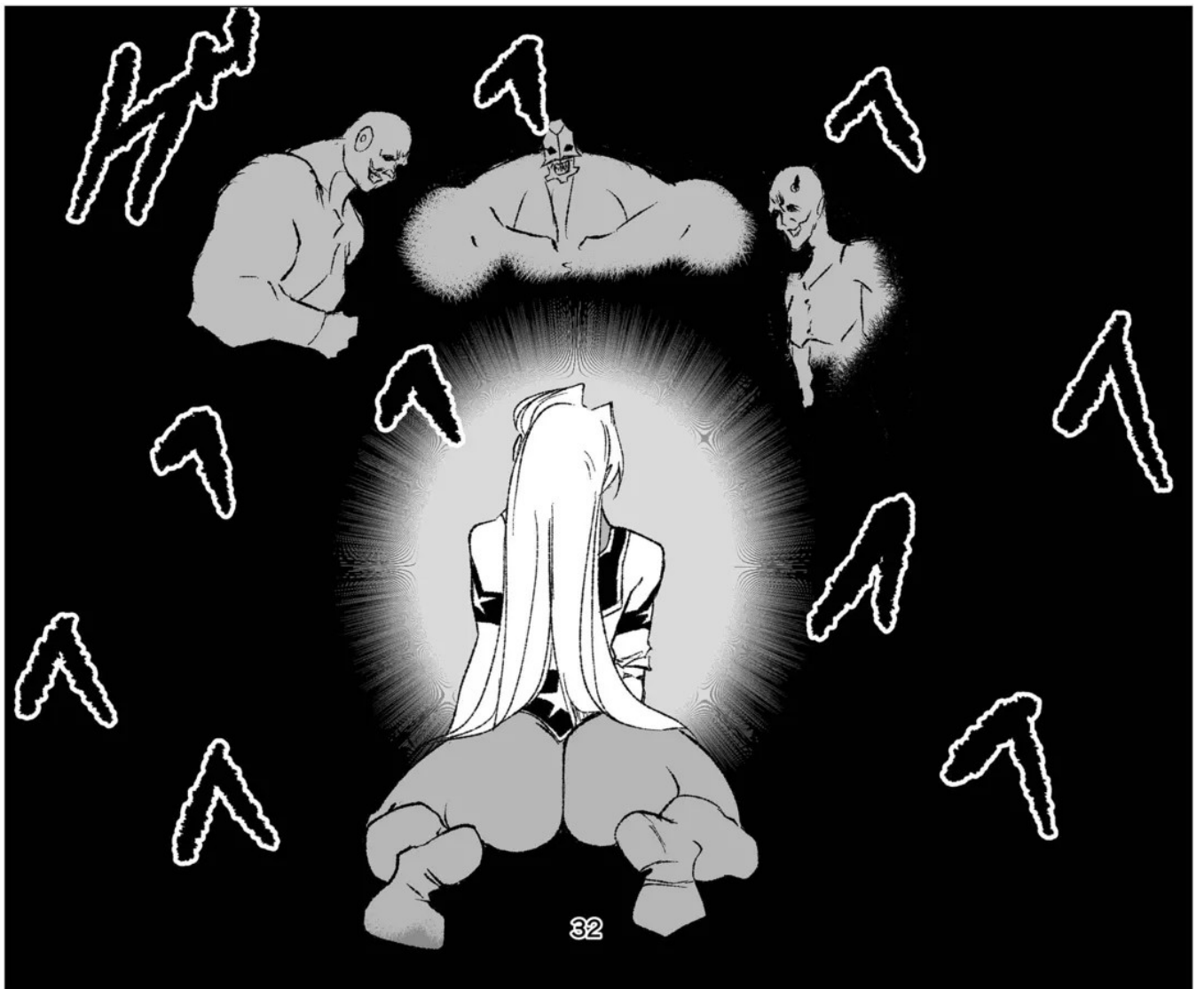
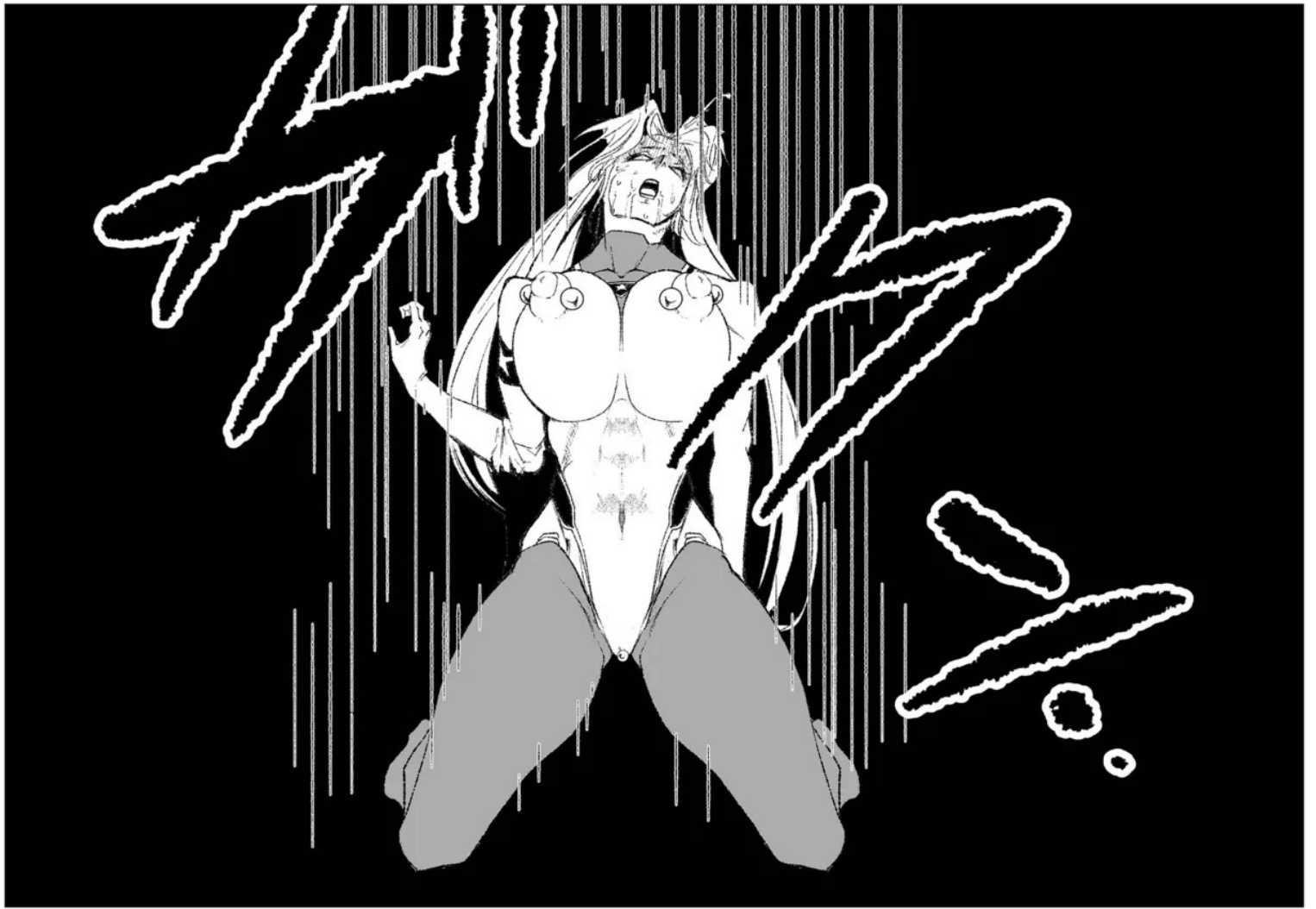




うぐ…
うう…

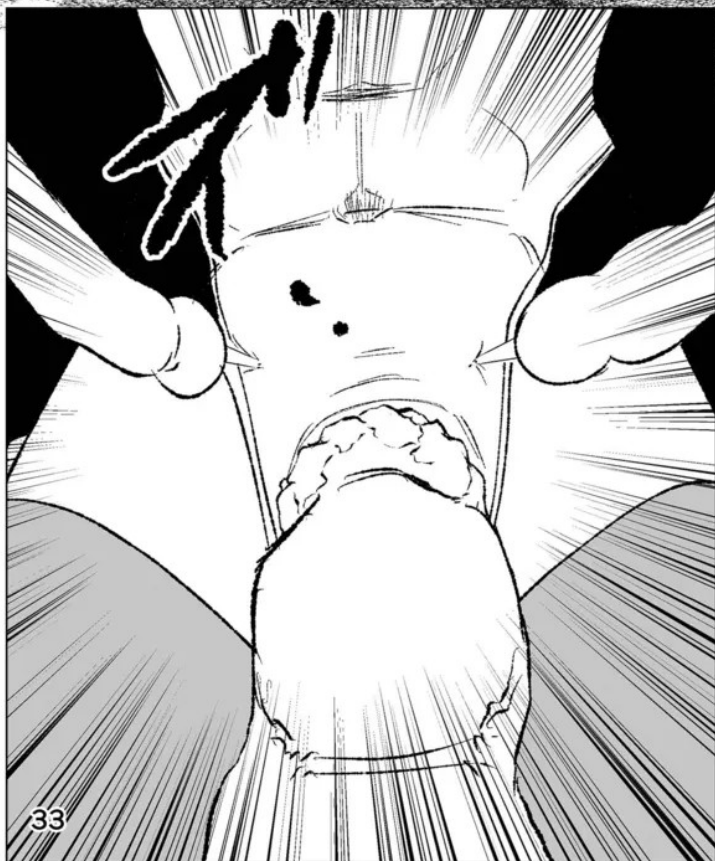
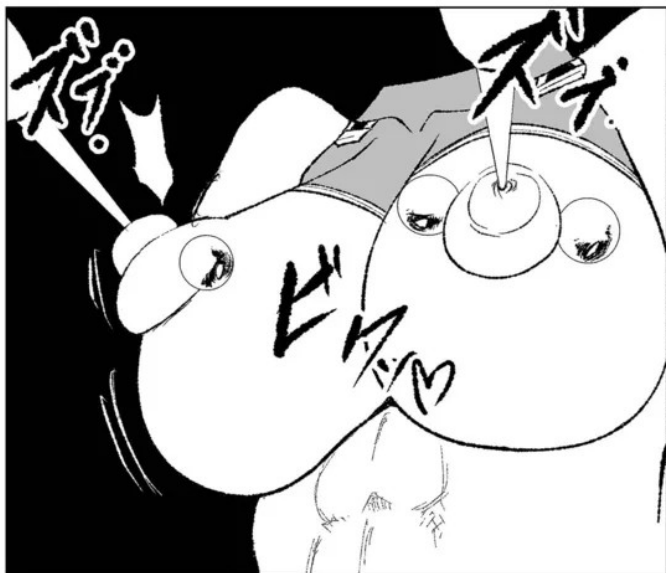
まだ…
まだ戦えるわ…!
負けるわけには
いかないもの!





限界が来た様なエマ

ではゆっくりと薬の効果を強める為の
処置を行なっていくとしよう





子宮に直接流されるっ！



ああっ！
ダメっ！

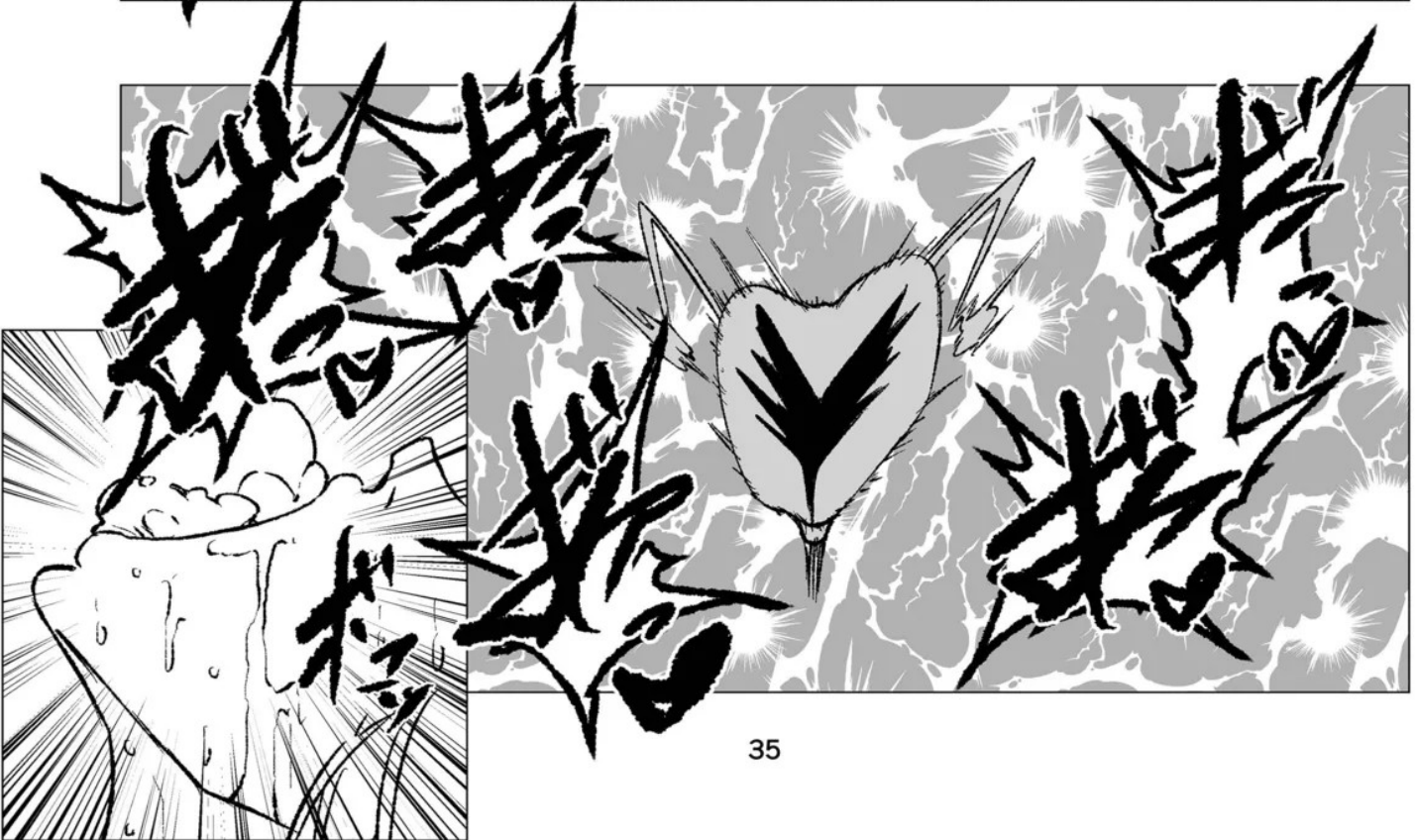
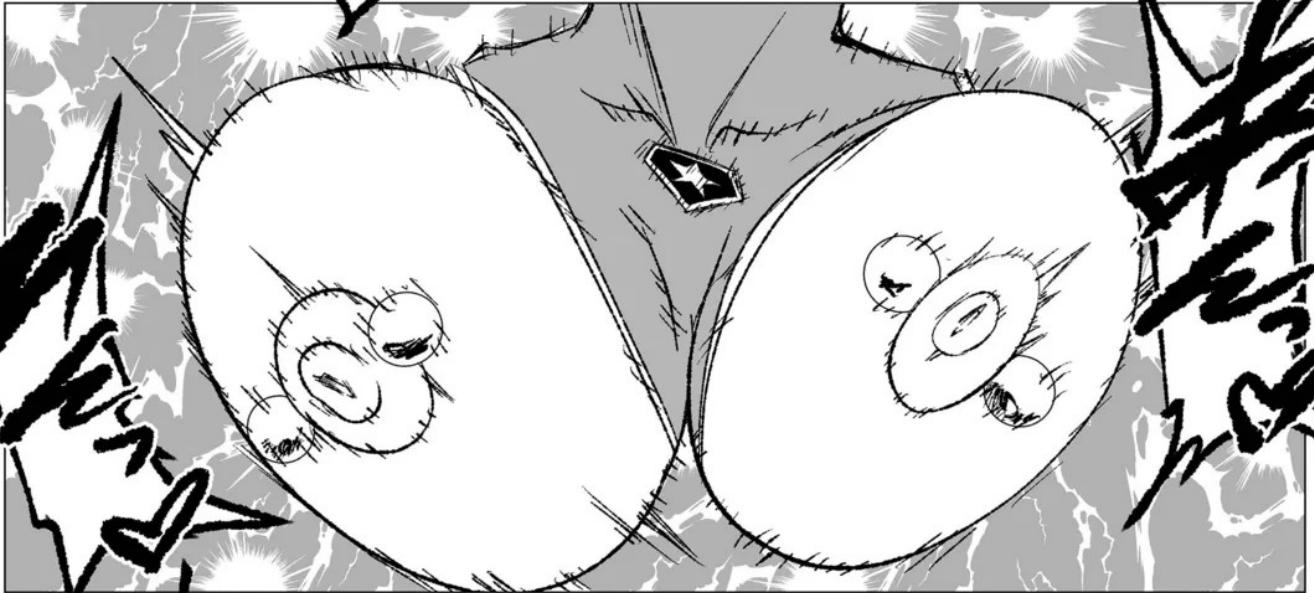
そんな所に電撃なんて！



前にこいつに
敗北した時の記憶が蘇る…！

あれはダメっ！

思い出しては
ダメエ！





効果が出たな

さっきの薬は
お前のスーパーパワーを
白濁の物質に変換させるものだ



おっ!
おっ!
おっ!

な、何かが...
身体の中から
迫り上がってくる!



ゲヘヘ
お前のスーパーパワーを
引きずり出してやるぜ



お前の身体に
刺激を与える事で
変換は進む

そんな...なんて事なの...!?
こんな薬を作れるなんて...!



んんっ!



出たぞ！
これがエマのパワーか！

引っ張るほど
どんどん溢れてくるぜ



おおおおっ!!



ゲヘヘヘヘ
もっと激しく引き摺り出されたら
内臓ごと出てくるんじゃないかねえのか？

ダメっ
私のパワーが…

引き摺り出されていく！
このままじゃ…
戦えなくなる！

おい途切れたぞ、どうなってる？
これでエネルギー全部か？

.....っ

いや、まだだ
こんなものではない

おいもつとヤク
ぶち込んでやれよ

身体に力が入らない...
このままパワーを
奪われ続ければ
もう二度と戦えな
くたってしまふ...

必要ない



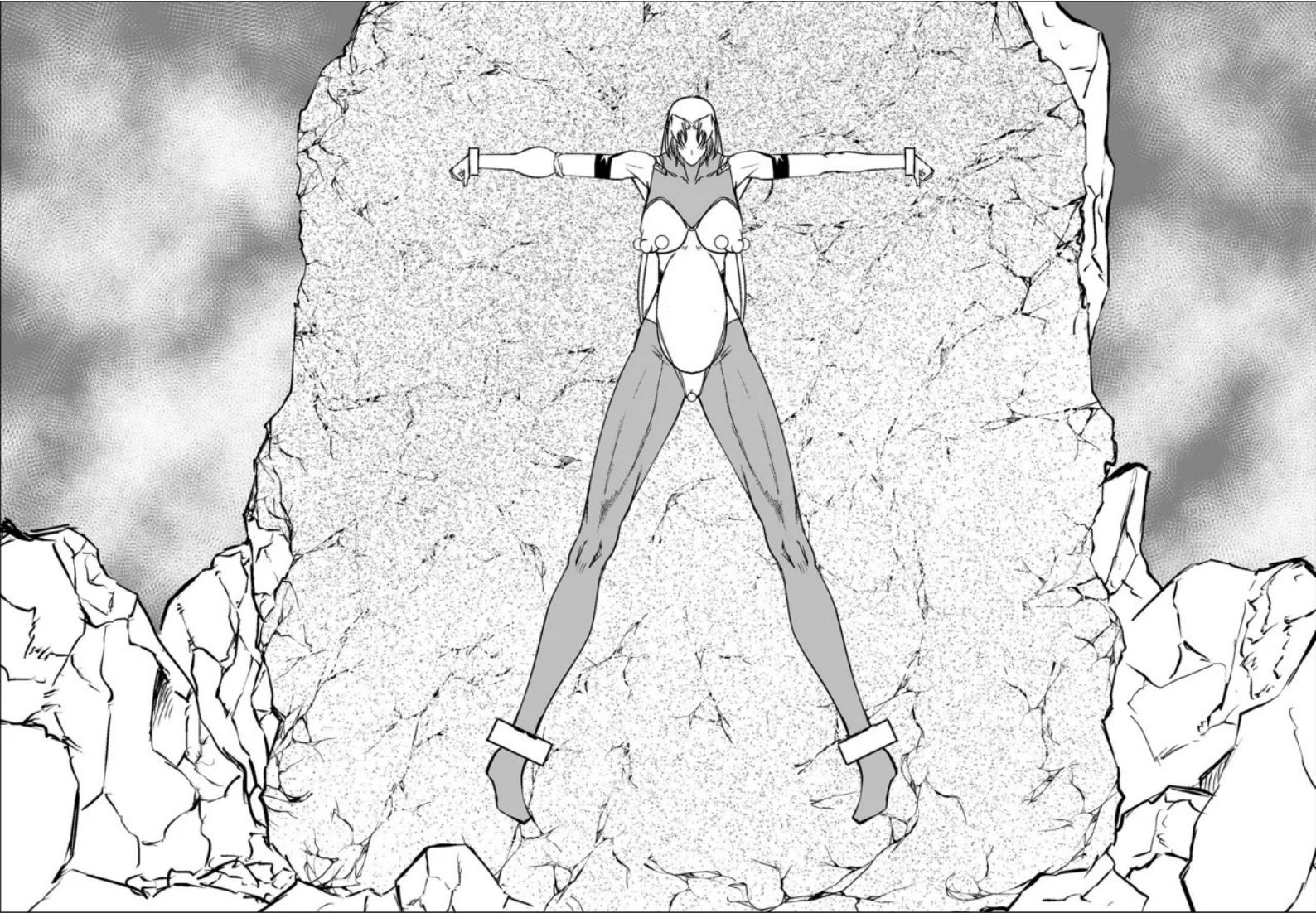
乳と子宮から
白濁が溢れてくる...!!
張っていくっ!!

ああっ!!
ダメエ!!

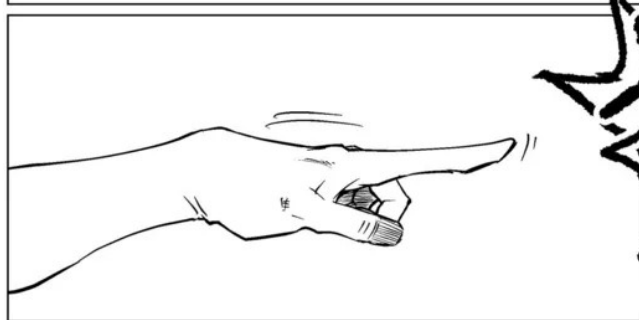
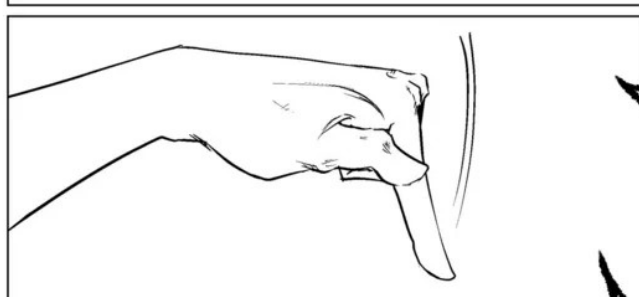
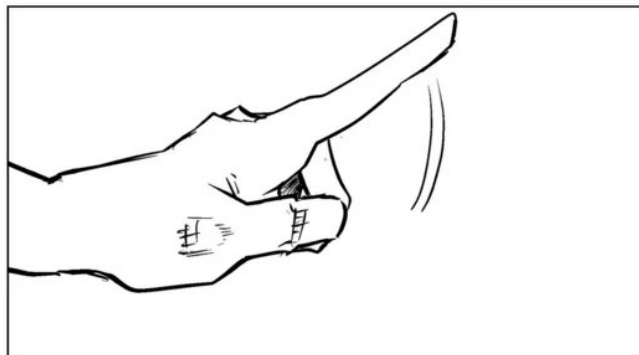
パワーが減った事で
身体の防衛能力が落ちてゆき
更に薬の効果が強まる

もうこの女は自身の力を
吐き出し続ける運命だ
二度と我々と戦えなくなるほどに
全てを出し尽くすまで











我

答

答

答

我

我

答



我

我

我

我

